

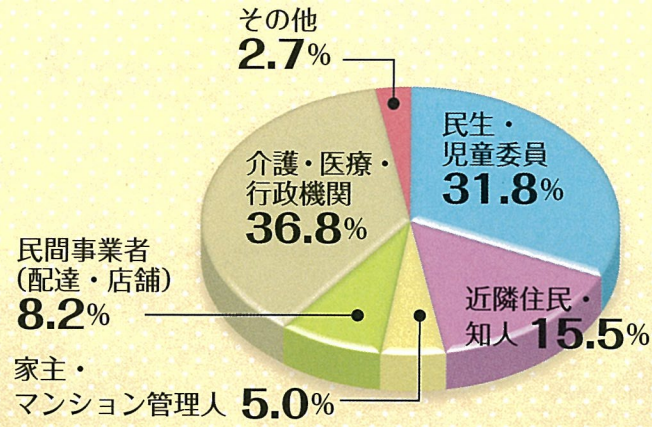
令和元年度4月～9月の通報相談件数

高齢者の見守り・安否確認について各地域包括支援センターに寄せられた通報・相談件数は4月～9月の間で220件でした。

通報相談件数の内訳は右のグラフのとおり、民生・児童委員、近隣住民・知人、家主・マンション管理人、民間事業者のかたからの通報が約6割を占めています。

通報相談内容は、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の支援に関するもの(74件)、安否確認(72件)、認知症・精神疾患に関するもの(47件)の順に多くなっています。

通報相談を受けた地域包括支援センターは、状況を確認したうえで必要な支援を検討し、サポートしていきます。

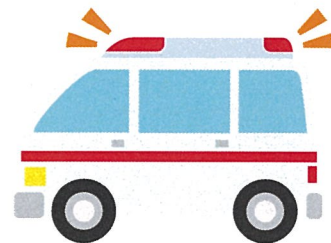


防災救急医療情報キット配布中!!

防災救急医療情報キットって・・・

災害時や救急救命時に備えて、医療情報や緊急連絡先などを救急情報カードに記入して筒に入れ、冷蔵庫に保管しておくものです。

救急で駆け付けた救急隊員などが、冷蔵庫内に保管されているキットの救急情報カードから医療情報などを確認し、迅速な救急活動・支援活動につなげます。



配布対象者

- ひとり暮らし等の高齢のかた
- 在宅で介護サービスを受けられているかた
- 障害者手帳をお持ちのかた
- 高次脳機能障害のかた
- 難病のかた
- その他、必要なかた

救急情報カード 更新も忘れずに!!!

緊急連絡先・医療情報・介護情報が古いままで、災害・緊急事態に活用できない場合があります。救急情報カードを定期的に更新し、緊急時に備えましょう!

防災救急医療情報キット配布先

- 各地域包括支援センター
- 区役所窓口(福祉総合課、高齢福祉課、健康福祉計画課、障害福祉課)

【編集】目黒区健康福祉部福祉総合課 TEL: 5722-9385 FAX: 5722-9062

見守りめぐねっと

発行：目黒区

ねっとわーく通信

第20号
令和元年度冬号
(年2回発行)

地域で支え合う

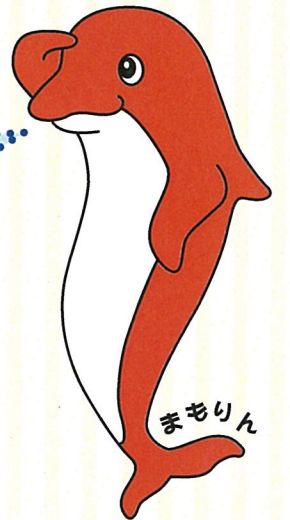
見守りの輪があるまちへ

目黒区では、「住み慣れた地域で高齢者や子ども、障害者などだれもが安心して暮らし続けられるまち」を目指し、見守りネットワークを推進しています。

見守りめぐねっと登録事業者活躍中です!

地域の団体・機関・事業者のみなさんにご賛同いただき、いつものお仕事の中で地域の「ちょっと気がかりなこと」に気付いた時に、地域包括支援センターにご連絡いただいております。令和元年11月1日現在、26団体、4機関、382事業者といった多くの事業者が見守り活動にご協力いただいております。

※協力団体・機関・事業者の一覧は、目黒区のホームページに掲載しています。



地域包括支援センターとは?

地域包括支援センターは、住み慣れたまちでだれもが安心して住み続けられるように、保健・福祉の面から区民のみなさんを支援する窓口です。専門知識をもった職員が、介護保険や認知症、在宅療養など保健・福祉に関わる相談をお受けし、適切な制度やサービスの利用へとつなげるよう支援します。

地域包括支援センターにご連絡ください

連絡先	北部包括支援センター	東部包括支援センター	中央包括支援センター	南部包括支援センター	西部包括支援センター
☎	5428-6891	5724-8030	5724-8066	5724-8033	5701-7244
fax	3496-5215	3715-1076	5722-9803	3719-2031	3723-3432

開設時間

月曜から金曜日 午前8時30分から午後7時まで
土曜日 午前8時30分から午後5時まで
(祝・休日と年末年始を除く)